

**岸清一** 弁護士・スポーツ功労者。民事訴訟の権威で、大日本体育協会長になり、日本スポーツ界をリードした。

きしせいいち

**大政奉還**・1867 = 松江藩士の次男として、松江に生れた。

**明治維新**・1868 = 1歳 :

**明治6年政変** 1873 = 6歳 :

三つの反乱・1876 = **9歳** :

**明治14年政変** 1881 = 14歳 :

内閣発足・1885 = **18歳** :

東京帝国大学英法科在学中に、ボート選手として活躍、スポーツの先覚者となる。

**帝国憲法発布** 1889 = 22歳 : 卒業。

郡司千島探検 1893 = 26歳 : 第1回弁護士試験に合格して弁護士となり、

**日清戦争始**・1894 = **27歳** :

三菱財閥の顧問弁護士を務めて、民事訴訟の権威となる。

**日比谷公園**・1903 = **36歳** :

**日露戦争終**・1905 = 38歳 :

韓国併合・1910 = 43歳 : 法学博士。

大逆事件判決 1911 = 44歳 : 大日本体育協会の創立に関わり、

**明治天皇没**・1912 = **45歳** :

21ヶ条要求・1915 = 48歳 : 日本弁護士会会長に推される。

民本主義・1916 = 49歳 : 大日本体育協会副会長、

**ロシア革命**・1917 = 50歳 : 第三回極東選手権大会の役員を務めて以後、

5回の極東大会と3回のオリンピックで団長または役員を務め、その間、私財を投じて日本スポーツの興隆に情熱を注ぐ。

**原敬首相暗殺** 1921 = **54歳** : 嘉納治五郎の後を継いで大日本体育協会の第2代会長に就任、強い指導力を発揮して興隆期の日本スポーツ界をリード。

護憲三派圧勝 1924 = 57歳 : オリンピック・パリ大会の際、IOC(国際オリンピック委員会)委員に就任し、

海軍軍縮条約 1930 = **63歳** :

**満州事変**・1931 = 64歳 :

五一五事件・1932 = 65歳 :

ロサンゼルス・オリンピックの際、IOC総会で、40年のオリンピック大会の東京招致計画(のち中止)を発表した。ロサンゼルス・オリンピックで優勝したイタリア選手が、ムッソリーニ首相から勲章を贈られたことを知り、同首相あてにアマチュアリズム違反の抗議電報を送って、世界的な話題になるも、

国際連盟脱退 1933 = 66歳 :

没した。

岸記念体育会館は、遺志による寄付金を基金として建てられた。